

FM文字多重放送 ディスプレイユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



VICSは財団法人道路交通情報通信
システムセンターの商標です。

FMX-88

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

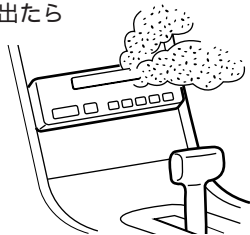
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

主な特長

FM文字多重放送とは通常のラジオ番組の電波のすき間を利用し、様々な文字情報を送る新しい放送です。文字放送は、ラジオ番組と一緒に送られて来ていますが、普通のチューナーでは見ることができません。本システムは、JFN系列の“みえるラジオ”を含めた文字放送レベル1*の一部に対応しています。本システムは、チューナーが受信した文字放送レベル1の信号を変換し、ディスプレイに表示することができます。

VICS情報もFM文字多重放送を使って発信されますが、「FM文字多重」を選択して見ることのできる交通情報はVICSセンターからの情報とは異なります。

* FM文字多重放送には文字表示装置の大きさや機能にあわせて3種類のサービスレベルが用意されています。レベル1とは15文字×2行程度の文字を中心としたサービスのことです。

- VICS情報レベル1(文字情報表示)を受信できます。
- ダッシュボードの上など、視線移動の少ない場所に簡単に置ける視認性に優れた液晶ディスプレイ。
- 使いやすさを考慮したFM文字多重放送専用ワイヤレスリモートコマンダーを付属。各ボタンがグリーンに発光し、夜間の操作性を高めます。
- ディスプレイに表示されている文字放送の画面を3つまでメモリーさせ、好きなときに呼び出して表示させることができます。
- 文字放送を受信する(信号の中に時計信号が含まれている場合)と自動的にマスターユニットの時計が調整され、いつも正確な時刻を表示します。
- 災害時などの緊急放送を優先的に表示させることができます。

目次

△警告・△注意	4
はじめに	6
リモートコマンダーについて	7
FM文字多重放送を見る	8
VICS文字情報を見る	10
表示を切り換える	11
番組内容の保存/呼び出しをする	11
次のページを見る	12
番組連動の情報に切り換える	12
ひとつ前の階層(番組メニューなど) へ戻す	12
ディスプレイを消す	13

画面を固定する	13
CD/MDやテープを聞きながら文字放送を 見る(サイマルプレイ機能).....	13
使用上のご注意	14
メッセージについて	15
保証書とアフターサービス	15
主な仕様	裏表紙



火災



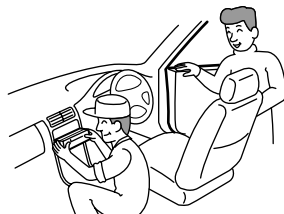
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

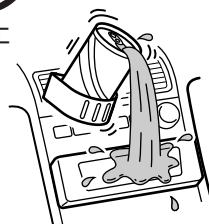


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

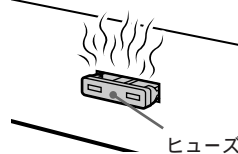


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

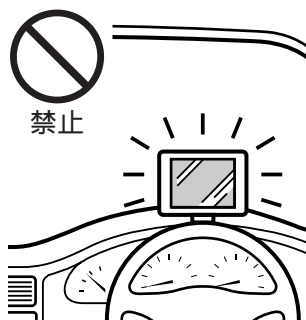


禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。
また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



はじめに

本システムはFM文字多重放送出力端子（FMコンボジット出力端子）のあるマスターユニットをお持ちでないとお使いいただけません。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。

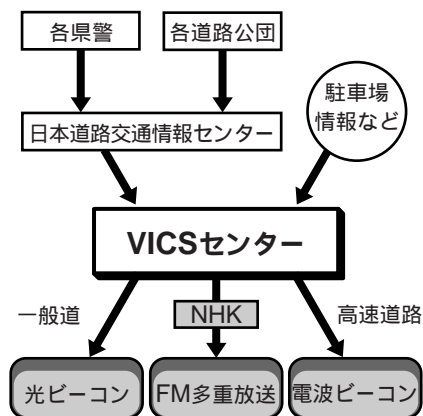
VICSとは

VICS (Vehicle Information and Communication System) とは、最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。

従来の道路交通情報は、都道府県の警察や各道路公団等によって情報収集され、それぞれが交通情報を発信すると同時に日本道路交通情報センターでまとめて発信されていました。

VICSセンターは、官学民の協力によってこれらの情報を一元化し、リアルタイムで、より精度の高い交通情報を提供することなどを目的にして設立された財団法人です。

VICSのしくみ



*VICSセンターの交通情報サービスは、1996年4月に首都圏で開始され、第一期サービス地域は東京圏、大阪圏、愛知の8都道府県、および東名・名神高速道路全線です。順次全国に展開されます。

VICSが提供する情報の種類

VICSセンターが供給するサービス情報には、次のような種類があります。

- ・渋滞情報（渋滞地点、渋滞区間など）
- ・所要時間情報（主要地点間の所要時間）
- ・交通障害情報（事故、故障車、工事など）
- ・交通規制情報（通行止め、速度規制、車線規制など）
- ・駐車場情報（駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など）

VICSレベル1とは

NHKのFM多重放送の設備を使って発信される広域道路交通情報です。

情報は都道府県単位で、高速道路情報などを加えて発信されます。

内容は5分ごとに更新されます。（2.5分単位で2回送信）

FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。VICS情報はVICSセンターがNHKの設備を使って放送しているもので、NHKのFM文字多重放送とは異なります。また、全国すべてのNHK放送局から発信されているものではありません。

VICSに関するお問い合わせ

VICSの概念・計画 表示内容（レベル1）

（財）VICSセンター

TEL (03) 3592-2033（東京）

TEL (06) 209-2033（大阪）

電話受付期間

9:30～17:45

（土日、祝祭日は除く）

FAX (03) 3592-5494

（24時間受付）

VICSの運用時間

平成8年10月1日から

FM多重

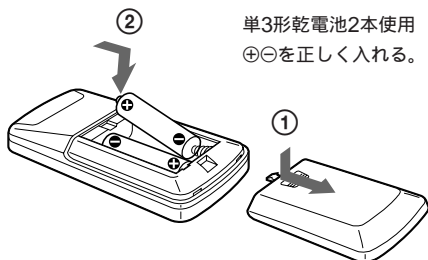
ビーコン

朝6:00～翌朝1:00

24時間

リモートコマンダーについて

電池を入れる



電池の交換時期は？

ふつうの使いかたで約6か月もちます。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。

乾電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

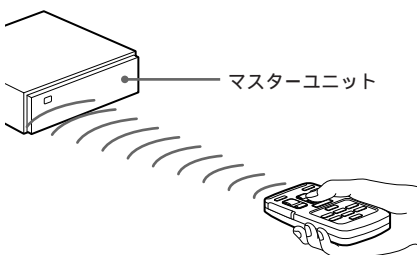
もし電池の液漏れが起こったときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにリモコンを放置しないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。(特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに車を駐車するときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、マスターユニットの受光部にリモコンを近づけて操作してください。

リモートコマンダーの操作

リモートコマンダーはマスターユニットの受光部に向けて操作します。



FM文字多重放送を見る

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。

メインメニューに切り換えるには

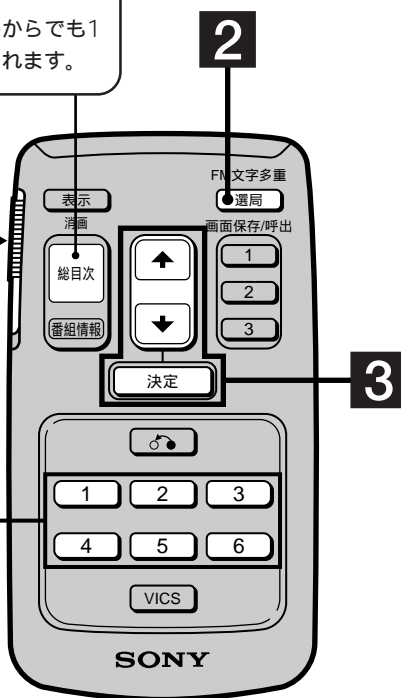
総目次 を押す。

文字多重放送番組のどの状態からでも1
回でメインメニューが表示されます。

照明ボタンを押し下げると各ボタンが数秒間グリーンに発光します

項目を番号で選択
/ 決定する

画面の項目に番号が
付いているとき、番
号と同じボタンを押
すと、項目を直接選
択、決定することが
できます。



1 マスターユニットの電源を入れる

ソースがAM、TV以外のときは、マスターユニットに連動し、文字デコーダーが「ON」になります。ディスプレイに「多重放送受信確認中です。」が表示されます。

ご注意

ソースがテレビ以外のとき、パワーアンテナは上がったままになります。アンテナを下げるには、マスターユニット側でOFFにしてください。

2 **選局** を押す

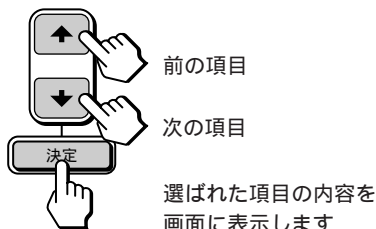
文字多重放送を行っている放送局を探し始め、ディスプレイに「多重放送選局中です。」と表示されます。多重信号を受信すると停止し、ディスプレイに「多重放送受信確認中です。」と表示され、続いてページの情報が受信できるとメインメニューが表示されます。

あらかじめ文字多重放送局をマスターユニットにプリセットしておくとう便利です。

ご注意

- 電波の状態により、受信するまでに多少時間のかかる場合があります。
- 電波の弱いところで **選局** を押すと多重信号が受信できるまで選局を続けます。

3 を押して見たい項目番号を選び、 **決定** を押す



ご注意

- 多重局受信後、画面が最初の総目次のままで何も操作されない場合、自動的に番組情報に切り替わります。
- 放送の内容や、受信状態などによって、、、、**1** ~ **6** の動作は、必ずしもここでの説明どおりに機能しない場合があります。

VICS文字情報を見る

1 VICS放送局をマスターユニットで選局して、文字多重放送を受信する

2 **VICS** を押す

VICSメインメニュー画面に切り換わります。

VICSとうきょう	(01/01)	10:08
1. 渋滞	2. 規制・事故	
3. 旅行時間	4. その他情報	

ご注意

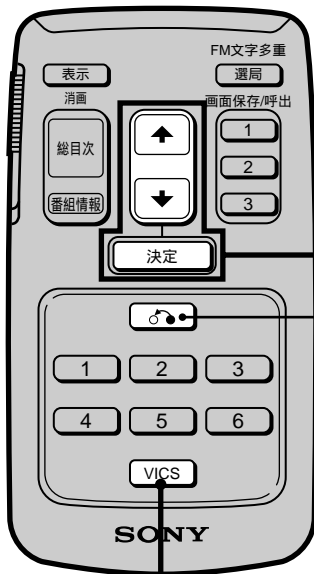
VICS画面における時刻表示は、その画面が最初に発信された時間となります。

3  を押して見たい番号を選び、 **決定** を押す

ふつうの文字多重放送に切り換えるには、 **総目次** を押します。

主なVICS放送局

80.7 MHz	VICS千葉
81.9 MHz	VICS横浜
82.5 MHz	VICS東京
85.1 MHz	VICS浦和
88.1 MHz	VICS大阪



ひとつ前の目次に戻るには

 を押す。

その他の操作

表示を切り換える

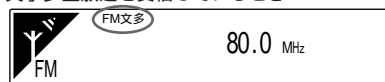
表示 を押す。

押すごとに表示は、文字多重放送の情報↔マスターユニット側の情報と、切り換わります。

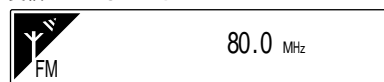


AM、TV以外のソースを再生しているときに **表示** を押すと、現在の文字放送の状況が表示されます。

文字多重放送を受信しているとき



文字多重放送を受信確認中または多重信号を受信していないとき



マスターユニットのLISTボタンで名前を表示したときのご注意

通常の表示に戻すには、マスターユニットのLISTボタンを押してください。

番組内容の保存 / 呼び出しをする

画面保存 / 呼出ボタンの **1** ~ **3** のいずれかを「ピッポッ」と音がするまで(約2秒間)押す。

ディスプレイ左上に「MEMORY」を表示し、画面がメモリーされます。

メモリーした内容を読み出す

画面保存 / 呼出ボタンの **1** ~ **3** のいずれかを短く押す。

メモリーされている画面がリモートコマンダーのいずれかのボタンが押されるまでディスプレイに表示されます。

メモリーされていないボタンを押すとディスプレイに「メモリーされていません。」と表示されます。

メモリーされていません。



MEM
2

ご注意

すでにメモリーされているボタンに新たに画面をメモリーすると、前にメモリーされていた画面は消えてしまいます。

その他の操作

次のページを見る

 または  を押す。


ディスプレイ右側に▲または▼があるときに押します。



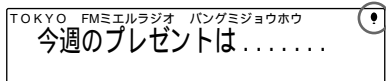
番組連動の情報*に切り換える

 を押す。

番組のどの状態からでも1回で番組連動の情報が表示されます。

 を押してから3分以内にもう1回押すと、番組情報に切り換わる前の画面に戻ります。

番組情報を表示しているときに、受信ができなくなるとディスプレイ右上に「！」が表示され、電波の状態が良くなるまで、最後の画面を表示したままになります。



* 番組連動の情報とは？

FMラジオ番組の内容と連動した情報番組です。流れている曲名や演奏者名、リクエスト先の宛先、電話番号、FAX番号などが画面に表示されます。(放送の内容や電波の状態により音声と表示が一致しないことがあります。)

過去の番組連動の情報を見る

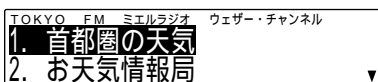
最大10ページ分まで過去にさか登って内容を見ることができます。

番組情報表示中に  を何回か押してください。

ひとつ前の階層(番組メニューなど)へ戻す

 を押す。

番組が表示されているときに、 を押すとその番組の番組メニューへ戻ります。



ディスプレイを消す

表示 を2秒以上押す。

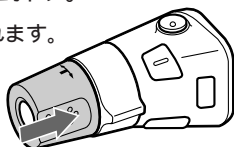
リモートコマンダーのいずれかのボタンを押すと、再び点灯します。

画面を固定する

(マスターユニットにロータリーコマンダーRM-X2Sが接続されている場合)

ロータリーコマンダーのPRESET/DISCボタンを押す。

→ディスプレイ左上に「HOLD」が表示され、画面が固定されます。



画面を固定したときにできる操作

- ・表示を切り換える。
- ・固定した画面を保存する。ただし、画面がメモリーされると、固定は解除されます。

固定を解除するには

- ・ロータリーコマンダーのPRESET/DISCボタンを押す。
- ・マスターユニット側で操作をする。
- ・リモートコマンダーの選局ボタンを押す。

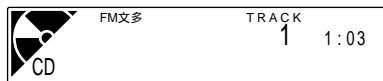
CD/MDやテープを聞きながら文字放送を見る(サイマルプレイ機能)

他のソースの再生中に、**表示** を押す。

→表示が切り換わり、文字多重放送が表示されます。

下のイラストのように「FM文多」が表示されているとき、**表示** を押すと文字多重放送の情報に切り換わります。

CD再生中



MD再生中



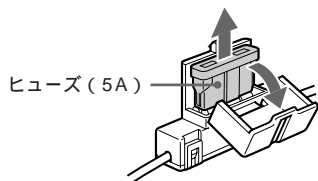
ご注意

「FM文多」の表示は、受信状態が悪いと消えることがあります。

使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



直射日光をさけるために

- 直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所にリモートコマンダーを長時間放置しないでください。
- 長時間停車するときは、ディスプレイに直射日光が当たらないように、おおいをかぶせるなどしてください。

本体表面を傷めないために

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたリ、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

パワーアンテナについて

テレビ受信時以外は、チューナーが常に動作していますので、パワーアンテナは出たままの状態になります。

アンテナを下げたい時は、マスターユニットの電源をOFFにしてください。

緊急警報について

災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するものですが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急情報です。

本機は、緊急警報を受信することができるようにしたのですが、本機自体で災害による被害を予防したり損害を回避できるものではありません。

したがって、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や取扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご利用ください。

メッセージについて

表示されるメッセージ	表示されたメッセージの説明
多重放送受信確認中です。	受信中の放送局が多重放送局かどうかを確認するまで表示されます。
多重放送選局中です。	選局 を押し、多重放送局を探している間、表示されます。
データを受信できません。	受信中の放送局が多重放送局でないときや、多重放送局であっても受信状態が悪く、多重信号が受信できないときに表示されます。 →周波数を変更してください。
このページは只今受信待ちです。	ボタンを押してページを選んだときに、そのページの情報を全部受信できていないときに表示されます。
表示可能な情報の受信待ちです。	多重放送局であることを確認後、5分以上経過しても表示可能な情報が受信できないときに表示されます。 →周波数を変更してください。
この番組は有料です。	表示しようとした番組が有料番組のときに表示されます。
表示できないデータです。	表示しようとした番組がレベル1(主な特長の項目を参照)以外のデータのときに表示されます。
VICSデータを受信できません。	受信中の放送局が多重放送局でないときや、多重放送局であってもVICSのデータを受信できない場合に表示されます。 →周波数を変更してください。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

ハイダウェイユニット

消費電流	350 mA
入力端子	バスコントロール (1) FMコンボジット信号 (1)
出力端子	バスコントロール (1) ディスプレイ (1)
外形寸法	約141×26×95 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約480 g

リモートコマンダー / ディスプレイ

寸法	リモートコマンダー : 約62×115×25 mm (幅/高さ/奥行き) ディスプレイ : 約145×41×22 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	リモートコマンダー : 約80 g ディスプレイ : 約200 g

付属品

取り付け/接続部品 (一式)
取扱説明書 (一式)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
保証書 (1)
単3型乾電池 (2)

別売り品

マスターユニット	WX-C800MD、WX-C770、CDX-C7100など
CDチェンジャー	CDX-805など
MDチェンジャー	MDX-61など

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



* 1 - 3 - 8 6 0 - 4 8 8 - 0 1 * (3)